

## 農林水産大臣賞

あんよう じ ちょう  
**安養寺町**（福井県越前市）

### 自然を奏で、未来を創造するまち

安養寺町は、越前市の西部に位置する白山（しらやま）地区の一部であり、自然環境に恵まれた山間地域です。

集落では、多様な活動を行っており、代表的な活

動として、集落内に自生する「さぎ草」を守り育てる活動である「さぎ草王国」の取組と、地域住民と市民とともに里地里山の保全活動を行っている「郷の森・里楽（りらく）」の活動があります。また、平成18年度に



子供たちが植えたひまわり

は「農地・水・環境保全向上対策」のモデル地区として、平成19年度からは「安養寺地区緑を守る会」により本格的な活動を始め、今まで以上に地域活動に取り組んでいます。

「さぎ草王国」は、平成12年から活動を開始し、集落内のさぎ草自生地の復元と住民によるさぎ草の鉢植え栽培に取り組んできました。さぎ草は以前、集落内の各所にありましたが、基盤整備による生育環境の変化によりほとんど姿を見なくなりました。しかし集落の一部の住民が、鉢植えで栽培を続けていたため、再度自生する環境を整えることと、さぎ草による地域の活性化を目指して「さぎ草王国」を住民により「建国」し、住民が一丸となって自生地の復元と、鉢植えによる増殖に取り組んできました。さぎ草が開花する8月には、集落内にある「太陽の広場」で「さぎ草展」を開催し、集落外からも多くの来訪者があるなど、集落内外に「さぎ草王国」の情報発信を行っています。これをきっかけに各家庭でも多くの鉢植えを栽培し、開花の時期には集落内がさぎ草で一杯になり、一般の方も見学できるように玄関先に展示している家庭もあります。自生地も年々株数が増え、以前の姿に近づきつつあります。



静かな佇まいをみせる安養寺町

「郷の森・里楽(りらく)」では、恵まれた自然を活かした里地里山の保全活動を行っています。平成17年に集落の有志により設立され、里山の森づくりボランティア会員を一般公募で募り、活動を行っています。地域住民が市民とともに協働で活動を行い、人と自然が関わり合うことにより、かつての自然を取り戻すとともに、人と自然の結びつきを再発見することが重要と考えています。

活動は月1回の定期活動を基本とし、森づくり活動、ビオトープづくり、ため池整備、遊歩道整備、などを中心に活動しています。遊歩道整備には小学生も参加し、会員とともに手作りの遊歩道を製作しました。

作業にあたっては、

- ①機械を入れない、基本は手作業で！
- ②自己責任で行動を！
- ③持ち込まない、持ち出さない！
- ④ゆっくり、ゆっくり無理なく作業！

をキャッチフレーズとして取り組んでいます。農村の森と水田をあわせて「郷づくり」を進めることにより、集落の魅力を再発見することもできるのです。

これらの活動に加えて、希少生物の保護活動も活発です。集落が位置する白山地区が環境省指定の



郷の森・里楽(りらく)での木道づくり

里地里山保全区域に指定されたこともあり、集落内に生息する絶滅危惧種の「アベサンショウウオ」と世界最小である体長2cmの「ハッチョウトンボ」の保護活動として、休耕田を利用したビオトープの整備などを実施しました。水田を利用した生息環境を提供するために農薬の使用量を減らしたり、里山の整備をしながらも生息環境を荒らさないよう心がけています。

また集落の玄関口に子供たちと協力し、ひまわりの植栽を行うなど景観づくりも行っています。

これらの活動以前から、住民の繋がりとは他の地域と比べ強いものがありました。しかし、安養寺町に「さぎ草王国」を建国し、さぎ草を集落のシンボルとして各家庭でも栽培するようになり、住民の結束は一段と強くなったと言えます。この「さぎ草王国」の活動とおして、他にも自分たちでできることがないかという機運が盛り上がり、「里楽」の活動や希少生物の保護活動、子供たちと連携したひまわりの植栽、小学校の分校跡を利用した都会の子供たちのキャンプ(エコキャンプ)の受入れなど様々な活動を展開してきました。

「安養寺地区緑を守る会」には「さぎ草王国」、「里楽」も構成員として参加し、団体間の協力、住民意識の向上、そして希少生物の保護活動など、今までの活動をさらに発展させることができました。

今後は、集落内の若い世代へのバトンタッチと、広く情報を発信することにより、集落外からの参加者も求めていく必要があります。そのためには、無理なく活動が継続できることが重要であると考えています。

そして、安養寺町に住んで良かったと思えるようなまちを創っていきたいと思います。

#### ■ 講評

しっかり耕された農地、それを取り囲む里山、中心に位置する家屋によって一体的に構成される安養寺町の風景はまさに「美の里」です。「里楽」では小学生も巻き込んだボランティアによる無理のない活動がなされています。決して派手ではない地道な活動は、今の時代に必要とされているものであり、美の里づくりの取組として非常に高く評価されました。山里の素朴さがあふれる地域です。



秋祭り「姫御輿」



集落みんなで花壇の整備